

表2 平成19年12月30日現在のHIV感染者及びエイズ患者の国籍別、性別、感染経路別報告数の累計

診断区分	感染経路	日本国籍			外国国籍			合計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
HIV感染者	合計	6,570	622	7,192	929	1,271	2,200	7,499	1,893	9,392
	異性間の性的接触	1,663	505	2,168	310	736	1,046	1,973	1,241	3,214
	同性間の性的接触 ^{*1}	4,157	3	4,160	266	0	266	4,423	3	4,426
	静注薬物濫用	21	1	22	20	2	22	41	3	44
	母子感染	13	8	21	4	7	11	17	15	32
	その他 ^{*2}	121	31	152	31	19	50	152	50	202
	不明	595	74	669	298	507	805	893	581	1,474
エイズ患者	合計 ^{*3}	3,251	240	3,491	649	310	959	3,900	550	4,450
	異性間の性的接触	1,298	157	1,455	227	167	394	1,525	324	1,849
	同性間の性的接触 ^{*1}	1,200	1	1,201	95	2	97	1,295	3	1,298
	静注薬物濫用	12	3	15	19	0	19	31	3	34
	母子感染	9	3	12	1	4	5	10	7	17
	その他 ^{*2}	81	16	97	19	9	28	100	25	125
	不明	651	60	711	288	128	416	939	188	1,127
凝固因子製剤による感染者 ^{*4}		1,420	18	1,438	-	-	-	1,420	18	1,438

*1 両性間性的接触を含む。

*2 輸血などに伴う感染例や推定される感染経路が複数ある例を含む。

*3 平成11年3月31日までの病状変化によるエイズ患者報告数154件を含む。

*4 「血液凝固異常症全国調査」による2006年5月31日現在の凝固因子製剤による感染者数

死亡者報告数

感染症法施行後の任意報告数(平成11年4月1日～平成19年12月31日)	251 名
エイズ予防法 ^{*5} に基づく法定報告数(平成元年2月17日～平成11年3月31日)	596 名
凝固因子製剤による感染者の累積死亡者数 ^{*6}	606 名

*5 エイズ予防法第5条に基づき、血液凝固因子製剤による感染者を除く。

*6 「血液凝固異常症全国調査」による2006年5月31日現在の報告数